

クラウドファンディングの成功要因分析

プロジェクトマネジメントコース 矢吹研究室 1342066 島田樹

1. 背景

クラウドファンディング [1] とは、自らのアイデアやプロジェクトをネット上でプレゼンテーションすることで、支援者を集めて資金を獲得する手法である。SNS の発達に伴いプロジェクトの数も増加し、クラウドファンディングの市場も年々増加している [2]。幅広い分野と規模での応募が可能で、ベンチャー企業のプロジェクトや学生の研究費用の獲得などが多かったが、大手企業も支援者数から売れることを確実視されたプロダクトを販売者できるとして、マーケティングの一環として活用されるようになってきた。クラウドファンディングは一般的に資金提供者に対するリターンの形態によって以下の3つに分けることができる [3]。

1. 金銭的リターンのない「寄付型」
2. 金銭的リターンのある「投資型」
3. 権利や物品を購入することで支援する「購入型」

日本では金融商品取引法の規制などの関係上、購入型が最も普及しており [4]、アメリカの Kickstarter をはじめ、日本の CAMPFIRE や READYFOR も購入型になる。今回は日本で最初のクラウドファンディングサイトである READYFOR と Makuake で掲載されているプロジェクトの調達資金の時間変化を監視し成功要因を調査する。

2. 目的

READYFOR と Makuake で掲載されているプロジェクトから、調達資金の変化をグラフ化する。動画の投稿や SNS での告知などの多くの資金を集められた時にすべきプロジェクト実行者の行動の参考となる指標を作ることを目的とする。

3. 手法

クラウドファンディングサイトを、毎日定時に監視し、データ収集を行う。プロジェクトの調達資金の変化をグラフ化しパターン分けをする、成功しているプロジェクトが資金を獲得している時にしている行動を考察する。

4. 想定される成果物

プロジェクトの資金調達の情報からグラフ化しパターン分けをする。調達された日に行われた行動が成功要因であるかを判別する。



図1 調達資金の時間変化4種類

5. 進捗状況

現在までに約5か月分のデータを集め、継続して収集している。集めたデータから欲しい情報だけを自動的に抜き取る方法を模索している。

6. 今後の計画

今後は、引き続きデータを集めて資金調達の成功要因であるものの的中率を上げる。

参考文献

- [1] Wikipedia クラウドファンディング, 2016/09/20. <https://ja.wikipedia.org/wiki/>
- [2] 日本の主要クラウドファンディング 累計支援額 月次推移 (積み上げグラフ), 2016/09/21. <http://visualizing.info/article/4255.html>.
- [3] クラウドファンディングの3つの種類「購入型」「寄付型」「金融型」の違いと特徴, 2016/09/20. <http://anipipop.com/crowdfunding-3type/>.
- [4] 株式型クラウドファンディング - 改正金商法と日証協ルール, 2016/09/20. <http://startupinnovators.jp/blog/194/>.